

報道機関各位

問い合わせ先:社会教育課 文化財係
担 当 者:猿渡・瓜生
連 絡 先:0944-32-9183

かゆうらないおためしさい
江浦八幡神社で粥占御試祭

～カビの発生具合で今年を占う～

カビの色などで一年の吉凶を占う「粥占御試祭」が江浦八幡神社で開催されます。平成9（1997）年に市指定無形文化財に指定されています。

【粥占い】

粥に発生する「カビ」でその年の気象や農漁業の状況を予測する行事です。

「粥」は、前年の秋に収穫された稲一升二合（12月の意味）を元旦に神前奉納した後、1月15日に炊き上げられます。

方位を印した銅鍋に入れられた粥は、神殿内に1ヶ月間安置され、2月15日に神事お祓いの後、蓋が開けられます。粥に発生した「カビ」の色彩・形状・場所等は毎年異なるので、時間をかけて慎重に判定されます。

江戸時代には、判定結果が柳川藩へ報告されており、藩はこれをもとにその年の政策を決めていたと言われていました。

■日 時 令和5年2月15日（水）11：00より

■場 所 江浦八幡神社（みやま市高田町江浦742-2）



※取材の際は、「まいピア高田」駐車場をご利用ください。